

七夕まつりボランティアせいそうかつどう

一宮市立今伊勢小学校二年

川崎 航世

ぼくは、ボーイスカウトのビーバーたいに入っています。

一宮七夕まつりがおわった次の日の朝六時から、ボーイスカウトのみんなでますみだんじゃのそうじをしました。

じんじゃはごみだらけでした。プラスチックトレイ、くしカツのくし、ろんなしゅるいのごみがおちていました。

ぼくはひとりで十リットルはいるごみぶくろいっぱいのごみをひろいました。みんなのごみをあつめたら、ごみの山ができました。

ごみひろいをしている時、とてもあつくてあせをたくさんかきました。おさんぽをしているおばさんが、「そうじをしているすがたをみると、すがすがしいきもちになるわ。」とほめてくれました。

そうじがおわってから、みんなですみだんじゃにおまいりにいききました。おまいりしたら神さまがよろこんでくれているようにかんじ、とてもうれしくなりました。

きれいになるとカラスがごみをたべにこないし、じんじゃもきれいになって気もちがすっきりしました。

おまつりにきた人たちが、こんなにもごみのポイすてをするということにおどろきました。みんながそうじをしたら、ポイすてをする人はいなくなるのではないかとおもいました。

ボランティアせいそうかつどうをこれからもつづけて、ぼくたちのす



むこのまち、ちきゅうをきれいにし、まもっていききたいです。